

伸びゆく力

～ めざす児童像 ～

- *かしこく：自分の考えをもち伝え合う子
- *やさしく：友だちや言葉を大切に子
- *たくましく：めあてをもち、最後までやりぬく子



私の母乳育児体験から・・・

自分が子育てした際の最大の思い出は、二人の娘を完全母乳で育てたことです。

私は幸いにも母乳がたくさん出る体質でした。しかし、乳腺炎を起こしやすく、悩みもあり、ご近所の方から母乳育児の専門家（助産師）を紹介していただきました。そこで、おっぱいのマッサージをしていただきつつ、子育てを教わりました。

母乳の成分は、母親の食生活によって変化します。おいしい母乳を出すために、栄養バランスを考え、和食中心の食生活を心がけました。特に、野菜や魚、大豆をしっかり摂取しました。母乳は血液に匹敵するものですから、濃くて栄養のある母乳をつくるのは母親としての責任と論されたのをよく覚えています。

娘が母乳を飲む時のまなごしは、母親である自分としっかり目が向き合い、まるで会話しているように思えました。こちらが笑顔を見せると、素敵なエンジェルスマイルを返してくれました。授乳時間は、赤ちゃんにとって母親を独占しているわけですから、母子にとって至福の時間でもありました。

でも、3時間おきの授乳は大変です。ある日、夫が「たまには一人で外出したらどう？」と言ってくれ、母乳をあらかじめ搾乳して哺乳瓶に入れ、自分は買い物へ出かけました。一人での外出は久々で、リフレッシュできました。しかしながら、帰宅するとどうでしょう。娘を抱いて放心状態の夫が玄関の前でたたずんでいました。当時は携帯電話がなかった時代ですから、妻への連絡ができず、帰宅を待つしかなかったのです。「どうしたの？」と理由を聞くと、「娘が哺乳瓶のゴム製乳首をいやがって大泣きし、大変じゃった～」というのです。すぐさま、自分の乳首をくわえさせると、ごっくんごっくんと喉をならして飲むではありませんか。赤ちゃんでも舌の触感は敏感だということに気づき、思わず「ごめんね～」と抱きしめました。たっぷりと飲んだ後は「おなかいっぱい」と言っているかのようにして眠りこみました。母親がしっかりしなければと自覚した瞬間でした。

その後、育児における苦労は多々ありましたが、夫や両親による心の支え、近所の方や友人、助産師や保健師、保育園や学校でお世話になった先生など、多くの方々とのつながりの中で、子育ての知恵を教えてくださいました。

学校で児童の姿を見ると「ついこの前までは赤ちゃんだったのになあ」と愛おしく感じます。子どもが健やかに成長するために大人の責任は大きいのです。日本の将来を担う立派な日本人を育てることを目標に、学校・家庭・地域が力を合わせて子育てしましょう。



～ 防府市教育委員会学校訪問～ 6月2日（火）

6月2日、防府市教育委員会の方々が本校を訪問されました。来校者は次の方々です。

【教 育 長】杉山一茂 様 【学校教育課長】時乗順一郎 様
【学力向上推進室長】岡本昭彦 様 【指 導 主 事】荒瀬淳子 様

全学級、全教職員による授業の参観では、どの学級も落ち着いて学習に取り組んでいる姿を確認されました。その後、職員研修のようすを見られ、個の学習力を育てることについて指導助言していただきました。





～ 学力向上へ向けて～



本校は、「もっと知的好奇心が揺さぶられ、分かる授業、楽しい授業の展開できる学校へ」を今年度の努力点として掲げています。学校生活の大半は授業であり、私たち教師は「授業で勝負する」ことが本業です。授業をとおして、子どもたちが「学ぶことが楽しい、もっと知りたい、わかりたい、もっと調べてみたい、もっとできるようになりたい」というような学ぶ意欲を喚起するとともに、確かな学力を身につけることができる学校にならなければならないと思います。その具体策として、3つの取組を実施しております。

【基礎となる学力の向上】

「読む・書く・聞く・話す・計算する」を身に付けるため、次の実践をしています。

- * 朝の時間の活動・・・やまぐち学習支援プログラムの実施、読書、フリートーク
- * 家庭学習がんばろう週間・・・今学期は6月22～26日(月～金)に実施します。ご協力をお願いします！

【教職員の授業力の向上】

- * めあての明確化と振り返りの重視・・・授業の中で何を学び、どんな力がついたかを確認する授業実践
- * 学力向上教員の活用・・・学力向上推進教員の花立教諭と華城小の中川教諭による指導助言

【特別支援学級の子どもたちと通常学級における支援を要する子どもたちへのきめ細やかな指導】

- * 一人ひとりのニーズに応じた支援の充実
- * 情報交換や有効な指導・支援方法についての研修

～ 異年齢の集団活動をとおして、絆を深めました！ ～



6月12日、なかよし班給食を実施しました。給食はいつもと異なり、弁当箱につめてなかよし班(縦割り班)で集合場所に集まり、一緒に食べました。昼休みは、グラウンドでなかよし班で遊んで楽しみました。



高学年の児童は、これらの活動を企画・運営することで、責任感やリーダーシップ、下の学年を思いやる心が身につきます。初めて体験した1年生は、素敵な笑顔で満喫していました。



職場体験学習

6月11～12日(木～金)

佐波中学校2年生4名が職場体験学習を実施しました。

4名とも本校卒業生で、小学校時代に出会った先生の影響で体験を選んだそうです。終了時に、学校の先生の忙しさや大変さを感想で述べていました。彼らの夢がぜひとも実現することを期待しています。



保護者や地域の皆様へ

内藤久美子教諭が病気休暇をとっておりましたが、6月2日から復帰いたしました。ご心配をおかけしましたが、現在は従前と同様、頑張っております。

先日、地域の方から「挨拶をよくするようになった」という情報が入りました。子どもたちの励みになります。本校の教育活動や児童のことについて何かお気づきやご感想等がありましたら、どんな小さなことでもよろしいですから、お知らせください。(佐波小学校 TEL 22-0728)

